

教科別授業改善プラン（社会科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・キーワードを使ってノートにまとめることを繰り返し、社会科用語が少しずつ使えるようになってきた。
- ・児童が興味をもち、自分の考えがもてる課題を設定することで、自分の経験、資料、人々の願い、環境など学習したことを関連させて考察し、文章や図で表現できるようになってきた。

(2) 課題

- ・地図帳で地名に関しては確認したが、等高線や地図記号の読み取り、都道府県名や県庁所在地に関しては授業の中であまり取り上げる機会がなかった。
- ・学習の終わりに、社会科用語を使って学習感想やまとめを書くことにより重要用語を使えるようになったが、定着までには至らなかった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(観点別経年比較)

評価の記号は、平均正答率が目標値を「△…上回っている」「▼…下回っている」「≒…ほぼ同等」

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	観点別 ・知識・技能 ≒ ・社会的な思考・判断・表現 ≒		
第5学年	観点別 ・知識・技能 ≒ ・社会的な思考・判断・表現 △	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ≒	
第6学年	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ≒	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ▼ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼

(2) 分析

4年	正答率は概ね目標値と同じか、やや上回る、やや下回る項目が見られる。 ○市の様子について、地図記号の理解を基に地図を読み取る問題では、9ポイント上回っている。 ●工場の仕事について、工程を資料から読み取る問題では、目標値より20ポイント以上下回っている。 ●安全な暮らしについて、警察の仕事について選択する問題では、目標値より14ポイント下回っている。
5年	正答率は全体的に目標値をやや上回っている。目標値を5～10ポイント以上上回る正答率を示した項目もある。 ○特色のある地域の様子について、目標値を上回っている。特に特色ある地域の産業について適切な資料を選択する問題に関しては、高い正答率を示している。 ●「くらしをささえる水」について、水の使用量を資料から読み取る問題で目標値より10ポイント程度下回っている。 ●資料を読み取り記述する問題で、無回答の児童が20%程度いる。

6 年	正答率は目標値と同じか、下回る項目が見られる。 ○情報を生かした産業で、産業と情報との関わりを選択する問題では、目標値を 12 ポイント上回っている。 ●日本の水産業について、漁業別生産量の変化を資料から読み取る問題では、目標値より 18 ポイント下回っている。 ●日本の食料生産で、地産地消について資料を基に記述する問題では、無回答の児童が 20% 程度いる。
-----	---

3 重点課題

3 年	・地図から、方位や地図記号、土地の様子を読み取ること。 ・地図や資料から調べたこと、分かったことを整理してまとめること。 ・授業で出てきたキーワードを使ってまとめを書くこと。
4 年	・方位や地図記号など地図を読み取るうえで基本的な技能を身に付けること。 ・都道府県名や県庁所在地などの基本的な知識を身に付けること。 ・グラフの軸が示す単位に着目したり、複数の資料を比較したりして、正しく資料を読み取る力を身に付けること。
5 年	・社会科の重要語句を使って学習感想やまとめが書けるようにすること。 ・資料を丁寧に読み取り、書かれている内容や資料の特徴を正しく理解すること。 ・複数の資料を比較したり、関連付けたりして、資料を総合的に読み取り、記述すること。
6 年	・社会科用語を習得し、重要語句を使って学習感想やまとめが書けるようにすること。 ・教科書や資料集などの資料を丁寧に読み取る力を付け、書かれている内容を理解し、表現すること。 ・複数の資料を比較したり関連付けたりして、総合的に読み取ること。

4 授業改善策

3 年	・地図帳を活用し、方位や地図記号、土地の様子などの読み取る活動を入れ、地図を見る力を養う。 ・調べたことや分かったことを整理しまとめる際には、授業で出てきたキーワードを活用するようにし、表現力と理解を深める。 ・地図帳や資料から読み取れることを、全体で確認しながら整理・まとめる活動を計画的に取り入れる。
4 年	・地図記号や都道府県、社会科用語は、小テスト等を実施して確実に理解させる。 ・資料を正確に読み取るために、主に教科書の資料を使って、読み取りの練習を行う。複数の資料を比較する時は、読み取りの視点を明確にしてから内容を読み取らせる。 ・表の軸は何を表しているか、単位は何かなどを先に指導してから、内容を読み取らせる。
5 年	・学習した重要語句を用いて、分かったことを自分の言葉でまとめる活動を設定する。 ・資料を読む際には、読み取りの視点（縦軸は何か、横軸は何か、顕著な変化やその理由は何かなど）を繰り返し指導し、正しく資料を読む力を身に付けさせる。 ・複数の資料を扱いながら考える学習も取り入れ、読み取ったことを基に表現する活動を重ねていく。
6 年	・重要語句は色を変えるなど工夫をし、その上で学習した重要語句を用いて分かったことを自分の言葉でまとめられるようにする。 ・資料の読み取りが正確にできるよう、読み取りの視点を明確化し、必要な情報を収集できる力を身に付けさせる。 ・資料を比べて読み取り、考えたことを書いたり発表したりする機会を増やす。
各学年 共通	・既習の事項がしっかりと身に付くように、不定期に小テストを実施したり、アプリケーションやワークシートなどを活用したりする。 ・総合的に資料を読み取り、考えたことを記述する機会を増やす。